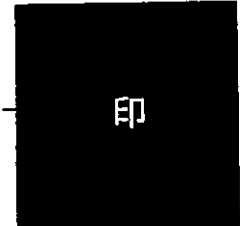


近畿厚生局長 殿

京都府公立大学法人  
理事長 荒巻 禎



京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	229人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

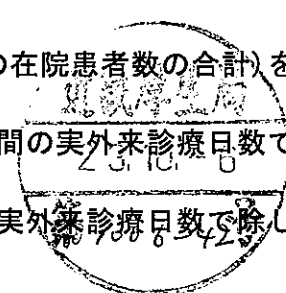
職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	209人	261人	470.0人	看護補助者	40人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	22人	27.0人	理学療法士	12人	臨床検査技師	52人
薬剤師	34人	10人	41.2人	作業療法士	6人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	0人	0人	0.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	694人	40人	719.6人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	1人
准看護師	1人	3人	3.1人	栄養士	4人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	2人	1人	2.7人	歯科技工士	2人	事務職員	86人
管理栄養士	4人	3人	6.8人	診療放射線技師	35人	その他の職員	36人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	680.5人	2.3人	682.8人
1日当たり平均外来患者数	1,744.4人	141.1人	1,885.5人
1日当たり平均調剤数	入院：2,069.2剤、外来：286.1剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	22人
末梢血単核球細胞移植による慢性閉塞性動脈硬化症等に対する血管再生治療	3人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	19人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	45人
膀胱尿管逆流症及び巨大尿管症に対する腹腔鏡下膀胱内手術	20人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	81人
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	4人
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	2人
先天性難聴の遺伝子診断	—人
前眼部三次元画像解析	—人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	—人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	133人	・膿疱性乾癬	24人
・多発性硬化症	53人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	105人	・原発性胆汁性肝硬変	172人
・全身性エリテマトーデス	1,362人	・重症急性膵炎	11人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	0人
・再生不良性貧血	53人	・混合性結合組織病	194人
・サルコイドーシス	331人	・原発性免疫不全症候群	10人
・筋萎縮性側索硬化症	29人	・特発性間質性肺炎	23人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	473人	・網膜色素変性症	46人
・特発性血小板減少性紫斑病	80人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	150人	・肺動脈性肺高血圧症	82人
・潰瘍性大腸炎	147人	・神経線維腫症	45人
・大動脈炎症候群	11人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	113人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	150人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	40人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	47人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	59人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	180人	・球脊髄性筋委縮症	3人
・アミロイドーシス	73人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	23人
・後縦靭帯骨化症	62人	・肥大型心筋症	74人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	26人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	150人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	41人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	17人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	352人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

28

28

3903

1087



## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
メチルグリオキザール修飾Hsp27蛋白質の同定と大腸癌における意義解明	内藤裕二	消化器内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
消化管機能分子と血清タンパク質の系統的解析による抗糖尿病機能性糖鎖の開発	内藤裕二	消化器内科	770,000	補委 科学技術振興調整費
Heme oxygenase-1高発現マクロファージを用いた腸管炎症制御	高木智久, 内藤裕二	消化器内科	1,300,000	補委 科学技術振興調整費
一酸化炭素による腸管炎症制御・粘膜損傷治療効果の分子機構解明	高木智久, 内藤裕二	消化器内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
がん温熱免疫療法の開発	古倉 聡, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
疾患バイオマーカーとしての酸化修飾トランスサイレチンの同定その測定法の確立	内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科	3,900,000	補委 日本学術振興会
ユビキタス生体計測ヘルスケアデバイス・システムの開発	内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科	22,300,000	補委 文部科学省
肝細胞癌における17p11増幅の標的遺伝子ERK5の同定とその細胞周期制御の解析	安居幸一郎	消化器内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法、治療法の開発に関する研究	安居幸一郎	消化器内科	1,500,000	補委 厚生労働省
HBV組み込みが肝細胞のクローナルな増殖に果たす役割	南 祐仁	消化器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌における新規1q21遺伝子増幅領域の解析	伊藤義人	消化器内科	910,000	補委 日本学術振興会
難治性膵疾患に関する調査研究班	片岡慶正	消化器内科	1,500,000	補委 厚生労働省
新規バイオポリマーを用いた急性膵炎の腸管環境制御	阪上順一	消化器内科	650,000	補委 日本学術振興会
膵臓癌における染色体異常の網羅的解析および融合遺伝子の探索	吉田直久	消化器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
担癌生体におけるナイーブT細胞の分化とその制御に関する研究	石川 剛	消化器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
ヒト心臓内多能性幹細胞と幹細胞増幅因子bFGF徐放シートのハイブリッド移植療法による心筋再生医療の多施設共同型臨床開発	松原 弘明	循環器腎臓内科	60,497,000	補委 厚生労働省
患者心臓幹細胞と人工心臓の心不全臨床試験	松原 弘明	循環器腎臓内科	22,258,210	補委 文部科学省

小計  
17

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト心臓内幹細胞の増殖・分化誘導因子の発見と心筋分化初期プライミング因子の検索	松原 弘明	循環器腎臓内科	9,360,000	補委 文部科学省
心筋再生医療に用いるヒト心筋幹細胞の単利・増幅技術の開発と臨床の開始および心筋幹細胞調整事業化への挑戦	松原 弘明	循環器腎臓内科	2,120,000	補委 JST
心不全・不整脈に關与する特異的遺伝子MURCの結合タンパク質の同定とその機能の解析	上山 知己	循環器腎臓内科	910,000	補委 文部科学省
心血管ストレスに应答するチロシンキナーゼの作用機序解明とその制御による創薬の試み	沖垣 光彦	循環器腎臓内科	130,000	補委 文部科学省
血管内皮アポトーシスを制御する新規遺伝子BRAD Eの血管新生における昨日の解明	池田 宏二	循環器腎臓内科	650,000	補委 文部科学省
心筋細胞特異的新規ERタンパクの同定と心筋細胞分化・心不全発症における機能解析	高橋知三郎	循環器腎臓内科	1,300,000	補委 文部科学省
P53を介したミトコンドリアエネルギー代謝バランス制御による心不全治療研究	的場 聖明	循環器腎臓内科	1,300,001	補委 文部科学省
脂肪酸結合蛋白の発見調節機構を標的とした病的肝臓由来の新規動脈硬化促進因子の同定	山田 浩之	循環器腎臓内科	910,000	補委 文部科学省
筋特異的発現遺伝子MURCの心肥大・心不全における役割についての検討	小形 岳寛	循環器腎臓内科	2,080,000	補委 文部科学省
筋特異的発現遺伝子MURCの同定と心不全・不整脈発症における分子機構の解析	田川 雅梓	循環器腎臓内科	2,080,000	補委 文部科学省
心血管ストレスに应答するチロシンキナーゼの作用機序解明とその制御による創薬の試み	松井 朗裕	循環器腎臓内科	1,560,000	補委 文部科学省
P53、TIGARを介した心筋代謝制御による心不全治療研究	木股正樹	循環器腎臓内科	1,235,000	補委 文部科学省
悪性リンパ腫に対する最適化されたモノクローナル抗体併用療法の開発による標準的治療法の確立	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	1,000,000	補委 厚生労働省
分子基盤に基づく難知性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	1,000,000	補委 厚生労働省
多発性骨髄腫におけるIG転座,PVT1,DCOの分子遺伝学的解析と臨床応用	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	2,100,000	補委 文部科学省
成人T細胞白血病(ATL)のゲノム解析異常に基づく白血病の発症機構の解析	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	1,000,000	補委 文部科学省
造血器悪性腫瘍における骨髄腫瘍環境による細胞周期静止の分子機構の解明と薬剤抵抗性の克服	黒田純也	血液・腫瘍内科	1,000,000	補委 かなえ医薬振興財団 研究助成金
再発・難治性骨髄腫に対する至適分子標的療法の確立と生物学的治療予測因子の探索	黒田純也	血液・腫瘍内科	1,000,000	補委 厚生労働省
造血器悪性腫瘍における腫瘍環境由来治療抵抗性獲得の分子メカニズム解明と新規分子標的の探索	黒田純也	血液・腫瘍内科	1,000,000	補委 京都府公立大学法人若手研究者育成支援費



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ガレクチン9による多発性骨髄腫に対する新規治療法の開発	古林 勉	血液・腫瘍内科	500,000	補委 京都府公立大学法人若手研究者育成支援費
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	中川 正法	神経内科	3,000,000	補委 厚生労働科学研究
神経変性疾患に関する調査研究	中川 正法	神経内科	1,200,000	補委 厚生労働科学研究
重症度別治療指針作成に資すHAMの新規バイオマーカー同定と病因細胞を標的とする新規治療法の開発	中川 正法	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
アレキサンダー病の診断基準および治療・ケア指針の作成、病態解明・治療法開発のための研究	中川 正法	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究	中川 正法	神経内科	13,000,000	補委 厚生労働科学研究
認知症、運動器疾患等の老年病罹患状況及び高齢者の心身状況把握のための長期疫学的調査	中川 正法	神経内科	1,300,000	補委 長寿医療研究委託費
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	中川 正法	神経内科	1,300,000	補委 厚生労働科学研究
わが国で発見された遺伝性運動感覚ニューロパチーの海外学術調査とその病態解明研究	中川 正法	神経内科	3,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
遺伝性脳小血管病の病態機序の解明と治療法の開発	水野 敏樹	神経内科	1,500,000	補委 厚生労働科学研究
TGFβ1シグナルによる小脳血管病変発症・脳腎関連の分子機構解明	水野 敏樹	神経内科	2,100,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
αシヌクレイン分解酵素ニューロシンの細胞内プロテアーゼ特性とその制御因子の検討研究	徳田 隆彦	神経内科	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究	滋賀 健介	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
ニューロパチー病態解明に関する研究	滋賀 健介	神経内科	1,000,000	補委 精神・神経疾患研究開発費
αシヌクレインノパチーにおけるアミロイド伝播機序の解明研究	笠井 高士	神経内科	900,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
アレキサンダー病の診断基準および治療・ケア指針の作成、病態解明・治療法開発のための研究	吉田 誠克	神経内科	13,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
GFAP遺伝子異変によるグリア細胞の機能変化およびその修飾因子の解明	吉田 誠克	神経内科	700,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
新しい脳卒中医療の開拓と均てん化のためのシステム構築に関する研究	富井 康宏	神経内科	1,000,000	補委 循環器病研究開発費
免疫細胞活性化カラムを用いた体外循環治療技術を併用した癌ワクチン療法の開発	伊藤 剛	消化器外科	900,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規癌遺伝子による消化器癌の早期診断と科学放射線療法感受性予測法の開発	園山輝久	消化器外科	1,600,000	補委 日本学術振興会
消化器癌患者の血中遊離核酸を用いた新たな診断法の開発と個人化バイオマーカーの試み	市川大輔	消化器外科	900,000	補委 日本学術振興会
胃癌における新規アダプター蛋白XB130によるc-Myc発現制御機構の解明	塩崎 敦	消化器外科	1,700,000	補委 日本学術振興会
消化器癌における新規癌遺伝子SMYD2の癌化機構の解明と臨床応用	小松周平	消化器外科	1,230,000	補委 日本学術振興会
TNF- $\alpha$ とClaudin-1を分子標的とした新規胃癌腹膜播種性転移治療法の開発	内藤和世	消化器外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
D. I. Y. Medicine: 患者体内で作る自家移植用心臓代用弁の開発	神田 圭一	心臓血管外科	6,300,000	補委 文部科学省
患者体内で作成する自家結合組織からなる代用血管の多目的化・多機能化への試み	神田 圭一	心臓血管外科	1,200,000	補委 文部科学省
遅延造影核磁気共鳴断層法による心筋バイアビリティー評価に基づく左室形成術の評価	大川 和成	心臓血管外科	1,100,000	補委 文部科学省
マルチタッチ・スクリーンを用いた直観的な胸腔鏡コントロールシステムの開発	島田 順一	呼吸器外科	9,964,000	補委 文部科学省
顔面神経再生におけるプロテオリシス	沼尻敏明	形成外科	650,000	補委 文科省
医療応用に向けた移植脂肪由来細胞の生体内動態と末梢神経再生促進メカニズムの解明	素輪善弘	形成外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	久保俊一	整形外科	2,000,000	補委 厚生労働省
関節軟骨疾患治療に向けた関節内環境ストレス応答機構の解明	久保俊一	整形外科	4,200,000	補委 文部科学省科学
温熱および微弱電流刺激を併用したストレス蛋白質発現増強による関節軟骨治療法の開発	久保俊一	整形外科	1,500,000	補委 文部科学省科学
生体吸収材料および自家多血小板血漿を用いた骨芽細胞誘導による脊椎固定術の開発	長谷 斉	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学
物理刺激による骨芽細胞の応答メカニズムの解明ーメカニカルストレスと微弱電流刺激ー	金 郁 詰	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省科学
足部疾患に対する3次元動態解析法の確立ー足部疾患患者の歩行改善を目指してー	徳永大作	整形外科	900,000	補委 文部科学省科学
P53-RB経路を標的とした悪性骨軟部腫瘍に対する遺伝子調節化学療法	辻 吉 郎	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学
自家多血小板血漿を用いた椎間板再生法ー臨床応用に向けた安全性の検証ー	三上靖夫	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ビスフォスフォネートを用いた悪性骨軟部腫瘍に対する治療戦略	村田博昭	整形外科	900,000	補委 文部科学省科学
末梢神経再生におけるグルココルチコイド作用の蛍光イメージング解析	藤原浩芳	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省科学
生体吸収材料および成長因子を用いた肩腱板修復促進法の開発	森原徹	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学
Scleraxisを用いた悪性軟部腫瘍に対する新規治療戦略	坂部智哉	整形外科	1,100,000	補委 文部科学省科学
ATPase阻害剤による新たな関節リウマチ治療法の開発 —破骨細胞を標的として—	酒井亮	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省科学
関節軟骨に対する陽イオン造影剤の開発	生駒和也	整形外科	3,500,000	補委 JST
子宮内膜症性嚢胞の悪性転化に伴う癌関連遺伝子近傍の遺伝子変異の解析	北脇城	女性生涯科学	3,120,000	補委 文部科学省
ネットワーク回線を用いた胎児超音波遠隔診断システムの構築	大久保智治	女性生涯科学	1,000,000	補委 京都市
子宮癌の検査特異的バイオマーカーとしてのマイクロRNAの同定	黒星晴夫	女性生涯科学	200,000	補委 財団法人京都がん協会
難治性横紋筋肉腫の病態に基づいた新規診断・治療法の開発	細井創	小児発達医学	3,200,000	補委 文部科学省
iPS細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療研究	細井創	小児発達医学	300,000	補委 文部科学省
血清中遊離DNAを用いた癌特異的遺伝子異常の早期診断法の開発	家原知子	小児発達医学	1,000,000	補委 JST
神経芽腫における標準治療の確立と新規治療の開発に関する研究	家原知子	小児発達医学	450,000	補委 厚生労働省
MLL-AF4ファミリー融合蛋白の白血病発症機序の解析と新規治療法の開発	今村俊彦	小児発達医学	1,500,000	補委 文部科学省
乳児ランゲルハンス細胞組織球症の標準治療の確立と新規治療法の開発	今村俊彦	小児発達医学	1,000,000	補委 厚生労働省
胎児型横紋筋肉腫に認めた新規融合遺伝子の機能解析と病態解明	土屋邦彦	小児発達医学	700,000	補委 文部科学省
hSNF5の標的遺伝子の同定とその転写制御のメカニズムの解明	栗原康通	小児発達医学	1,220,000	補委 文部科学省
全身型若年性特発性関節炎におけるバイオマーカーの探索	青山三智子	小児発達医学	800,000	補委 文部科学省
Phox2b遺伝子恒常的活性化による神経芽腫の分化障害の機能解明	柳生茂希	小児発達医学	1,400,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
細胞老化とエピジェネティック変化の制御による角膜上皮細胞治療法の基盤技術の開発	木下 茂	眼科	4,160,000	補委 文部科学省
IkB $\alpha$ を介したヒト眼表面炎症制御機構の解明ならびに新規抗炎症治療薬の開発	木下 茂	眼科	1,950,000	補委 文部科学省
涙液油層の動態解析法の開発と涙液油層動態決定因子の探索的研究	横井 則彦	眼科	1,560,000	補委 文部科学省
SJS/TENの発症機序解明および発症予測に向けた先駆的研究	外園 千恵	眼科	7,150,000	補委 文部科学省
環境調整を加味したロービジョンケアプログラムの有効性	外園 千恵	眼科	500,000	補委 文部科学省
酸化ストレスが落屑緑内障線維柱帯ならびに水晶体・虹彩上皮細胞に与える影響の検討	森 和彦	眼科	1,430,000	補委 文部科学省
ステロイド緑内障発症におけるエピジェネティック因子の解析	森 和彦	眼科	100,000	補委 文部科学省
ステロイド緑内障発症におけるエピジェネティック因子の解析	川崎 諭	眼科	200,000	補委 文部科学省
複合型粘膜上皮細胞移植と免疫制御による眼表面再生医療への展開	稲富 勉	眼科	1,430,000	補委 文部科学省
TACSTD2遺伝子による上皮タイトジャンクション機能制御機構の解明	川崎 諭	眼科	1,430,000	補委 文部科学省
線維柱帯分化マーカーの同定とそれに基づくヒトiPS細胞から線維柱帯細胞の創出	上野 盛夫	眼科	2,080,000	補委 文部科学省
血管成熟・リンパ管新生抑制の新しい治療法	丸山 和一	眼科	2,080,000	補委 文部科学省
近赤外光眼底自発蛍光撮影を応用した網膜色素上皮の超早期機能異常検出法の確立	古泉 英貴	眼科	1,820,000	補委 文部科学省
角膜内皮のアポトーシス、細胞死の制御による水疱性角膜症に対する新規治療法の開発	奥村 直毅	眼科	1,599,000	補委 文部科学省
瘢痕抑制による加齢黄斑変性の新しい治療薬の開発	米田 一仁	眼科	2,080,000	補委 文部科学省
緑内障診断SNPチップと変形プロテオミクスクラスター解析による緑内障統合的診断法の開発	木下 茂	眼科	26,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
特発性周辺部角膜潰瘍の実態調査および診断基準の確立	外園 千恵	眼科	19,500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
特発性周辺部角膜潰瘍の実態調査および診断基準の確立	外園 千恵	眼科	11,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
フックス角膜内皮変性症の実態把握と診断法確立のための研究	稲富 勉	眼科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性角膜内皮炎の実態把握と診断法確立のための研究	稲富 勉	眼科	2,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
膠様滴状角膜変性症の標準的レジメンの確立と新規治療法の創出	川崎 諭	眼科	19,500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
血小板を介する皮膚の炎症反応の制御・収束機構の解明	加藤 則人	皮膚科学	1,100,000	補委 文部科学省
皮膚バリア障害によるアレルギーマーチ発症機序解明に関する研究	加藤 則人	皮膚科学	2,000,000	補委 厚生労働省
スギ花粉症の免疫疫学的研究	加藤 則人	皮膚科学	200,000	補委 文部科学省
遺伝子導入マクロファージを用いた難治性皮膚潰瘍に対する細胞移植治療に関する研究	竹中 秀也	皮膚科学	1,300,000	補委 文部科学省
男性型脱毛症とアンドロゲンレセプター遺伝子のプロモーター環境との関連に対する研究	野見山 朋子	皮膚科学	1,000,000	補委 文部科学省
スタチンによるリンパ管新生を介した難治性皮膚潰瘍治療の基礎研究	浅井 純	皮膚科学	1,600,000	補委 文部科学省
皮膚炎におけるケラチノサイトの機能におよぼす血小板の役割に関する研究	峠岡 理沙	皮膚科学	1,600,000	補委 文部科学省
イオン輸送体を分子標的としたホルモン不応性前立腺癌新規治療薬の開発	三木 恒治	泌尿器科	1,400,000	補委 文部科学省
Body-GPSを導入した4次元手術ナビゲーションシステムの開発	高羽 夏樹	泌尿器科	1,700,000	補委 文部科学省
3次元空間位置認識システムを適応したプレート前立腺生検法の開発	沖原 宏治	泌尿器科	500,000	補委 文部科学省
再生基質に羊膜を用いた尿路再生	内藤 泰行	泌尿器科	1,000,000	補委 文部科学省
前立腺MRIと超音波の融合3次元ガイドランスによる高精度前立腺針生検法の開発	中村 晃和	泌尿器科	1,100,000	補委 文部科学省
Lo-MYCマウスを用いた前立腺癌のChemoprevention	岩田 健	泌尿器科	1,300,000	補委 文部科学省
ナノ磁性ビーズを用いた前立腺癌細胞における抗アンドロゲン剤ビカルタミド感受性調節タンパクの同定	高羽 夏樹	泌尿器科	1,000,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
経皮的腫瘍蒸散術を目的とした形状記憶合金製蒸散プローブの開発	内藤 泰行	泌尿器科	1,000,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
喉頭神経制御機構の解明とその障害への対応に関する総合的研究	久 育男	耳鼻咽喉科	3,120,000	補委 文部科学省科学研究補助金
蝸牛グルコースイメージングを用いた内耳性難聴発症機序の解明	鈴木 敏弘	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
喉頭挙上筋障害時における残存筋機能制御様式の変化に関する研究	馬場 均	耳鼻咽喉科	2,730,000	補 委 文部科学省科学研究補助金
頭頸部扁平上皮癌に対するサイトカイン免疫遺伝子治療の開発	中野 宏	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究補助金
聴覚受容に重要な働きをもつ感覚系構成分子の代謝動態に関する研究	坂口 博史	耳鼻咽喉科	1,820,000	補 委 文部科学省科学研究補助金
摂食障害の疫学、病態と診断、治療法、転帰と予後に関する総合的研究	福居 顯二	精神神経科	400,000	補 委 厚生労働省
精神障害および精神障害者に関する普及啓発に関する研究—種々の精神疾患(病態)の普及啓発に関する研究	福居 顯二	精神神経科	5,000,000	補 委 厚生労働省 (金額は、主任研究者一括)
京都府北部地域と京都市内における若年者とその保護者の依存性薬物に対する意識と支援上の問題点の比較に関する研究	土田 英人	精神神経科	800,000	補 委 京都府公立大学法人
若年者の薬物依存症における心理社会的発症因子に関する研究	土田 英人	精神神経科	800,000	補 委 阪本精神病理学研究所
強迫性障害における時間割引率の脳内メカニズムの解明	成 本 迅	精神神経科	3,000,000	補 委 大阪大学社会経済研究所共同利用・共同研究
育児期女性における不安・抑うつと虐待危険性に関する精神医学的研究	崔 炯 仁	精神神経科	800,000	補 委 文部科学省
小児がん患児におけるスピリチュアルペインの臨床的特徴とケアのニーズについての研究	羽多野 裕	精神神経科	650,000	補 委 笹川記念保健協力財団
アルツハイマー病(AD)における病態失認の神経基盤の同定、ならびにうつ、脱抑制が病態失認に与える影響の評価	柴田 敬 祐	精神神経科	1,000,000	補 委 財団法人大阪認知症研究会
京都府北部地域で活動する高齢者介護従事者へのテレビ会議と電子メールなどのIT技術を用いた認知症早期診断サポートシステムの開発	松岡 照 之	精神神経科	500,000	補 委 京都府公立大学法人
人工呼吸器関連肺損傷に関連したバイオマーカーの検討	橋本 悟	麻酔科	3,600,000	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
知覚神経における疼痛関連遺伝子の転写活性制御の解析と疼痛治療への応用	天谷 文昌	麻酔科	800,000	補委 日本学術振興会
好中球の転写因子C/EBP $\beta$ に着目した肺血症性急性肺損傷の病態解析	志馬 伸朗	麻酔科	1,000,000	補委 日本学術振興会
エピジェネティクスに注目したARDSの病態解析	橋本 悟	麻酔科	900,000	補委 日本学術振興会
miRNAによるRNA干渉効果を用いた新しい血小板遺伝子ノックダウン手法の開発	加藤 祐子	麻酔科	1,000,000	補委 文部科学省
人工心肺手術周術期の可逆的血小板機能低下と細胞死に及ぼす細胞内シグナリングの解明	影山 京子	麻酔科	900,000	補委 日本学術振興会
一側肺換気が急性肺損傷に及ぼす影響についての検討	上野 博司	麻酔科	900,000	補委 文部科学省
細胞骨格制御タンパク質による肺胞構築恒常化機構の解明	橋本 壮志	麻酔科	900,000	補委 文部科学省
グレリンの抗炎症-抗凝固作用の細胞内シグナリング解明と静脈血栓塞栓症治療への応用	深澤 まどか	麻酔科	1,000,000	補委 文部科学省
RNA干渉法による周術期心筋障害におけるオートファジーとアポトーシスの役割の解明	早川 由香	麻酔科	2,600,000	補委 日本学術振興会
痛覚過敏に於る $\beta 7\alpha$ レナリン受容体の細胞内シグナリングのメカニズムの解明	高取 真由美	麻酔科	2,300,000	補委 文部科学省
活性化グリアが敗血症性脳症発症にはたす役割の解明	竹下 淳	麻酔科	1,900,000	補委 文部科学省
敗血症での血糖値が単球系細胞のオートファジー、アポトーシス変化と予後へ及ぼす影響	中山 力恒	麻酔科	2,300,000	補委 文部科学省
細胞外ATP測定を応用した人工呼吸関連肺損傷の病態解析	松山 広樹	麻酔科	1,600,000	補委 文部科学省
痛覚過敏におけるトロンボモジュリンの細胞内シグナリングのメカニズム解明	柴崎 雅志	麻酔科	1,150,000	補委 日本学術振興会
羊膜上培養自己口腔粘膜上皮シートの多様な臨床応用に関する研究	金村 成智	歯科	1,300,000	補委 日本学術振興会
臨床応用を目指した羊膜を基質とした培養歯根膜由来細胞シートの開発に関する研究	雨宮 傑	歯科	1,170,000	補委 文部科学省
超薄型ポリテトラフルオロエチレン肺動脈弁の開発	山岸 正明	小児心臓血管外科	1,300,000	補委 文部科学省
マルチスライスCTによる複雑心奇形評価と軟性ウレタン樹脂光造形による心模型の開発	前田 吉宣	小児心臓血管外科	1,300,000	補委 文部科学省

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元	
骨髄球系抑制細胞の産生機構とIL-17の関与の解明	稲 葉 亨	臨床検査部	1,300,000	③補 委 日本学術振興会	小計 1
				補 委	計 163

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int J Colorectal Dis 2010, 25 455-461	Outcome of endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors in elderly people	吉田直久, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
World J Gastroenterol 2010, 16:4180-4186	Efficient hemostatic method for endoscopic submucosal dissection of colorectal tumors	吉田直久, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
Biochem Biophys Res Commun 2010, 391: 1122-1126	Carbon monoxide enhance colonic epithelial restitution via FGF15 derived from colonic myofibroblasts	内山和彦, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol 2010, 25: 1259-1265	Ecabet sodium promotes the healing of trinitrobenzene-sulfonic-acid-induced ulceration by enhanced restitution of intestinal epithelial cells	高木智久, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol 2010, 25: 129-133	Increased expression of microRNA in the inflamed colonic mucosa of patients with active ulcerative colitis	高木智久, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
Dig Dis Sci 2010, 55: 2797-2804	Inhalation of carbon monoxide ameliorates TNBS-induced colitis in mice through the inhibition of TNF-alpha expression	高木智久, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
Hepatol Res 2010, 40: 901-910	Lower circulating levels of dehydroepiandrosterone, independent of insulin resistance, is an important determinant of severity of non-alcoholic steatohepatitis in Japanese patients	内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
Dig Endosc 2010, 22: 329-333	Successful Endoscopic Hemostasis for Ruptured Duodenal Varices after Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration	八木信明, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
J Gastroenterol 2010, 45: 608-617	Early-stage blocking of Notch signaling inhibits the depletion of goblet cells in dextran sodium sulfate-induced colitis in mice	阪上順一, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
J Gastroenterol 2010, 45: 692-702	Reactive oxygen species-quenching and anti-apoptotic effect of polaprezinc on indomethacin-induced small intestinal epithelial cell injury	内藤裕二, 八木信明, 吉川敏一	消化器内科
Int J Colorectal Dis 2010, 25: 811-816	Evaluation of autofluorescence colonoscopy for diagnosis of superficial colorectal neoplastic lesions	内藤裕二, 八木信明, 吉川敏一	消化器内科
Gastroenterol Res Pract 2010, 518260	Successful endoscopic injection sclerotherapy of high-risk gastroesophageal varices in a cirrhotic patient with hemophilia a	八木信明, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biol Chem 2010, 285: 9282-9291	Chemical and immunochemical detection of 8-halogenated deoxyguanosines at early stage inflammation	内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
Int J Oncol 2010, 36: 85-92	Epigenetic silencing of RELN in gastric cancer	安居幸一郎, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
Cancer Genet Cytogenet 2010, 202: 82-93	SOX2 identified as a target gene for the amplification at 3q26 that is frequently detected in esophageal squamous cell carcinoma	安居幸一郎, 内藤裕二, 吉川敏一	消化器内科
J Gastroenterol 2010, 45:95-104	Steatosis and hepatic expression of genes regulating lipid metabolism in Japanese patients infected with hepatitis C virus	安居幸一郎, 伊藤義人, 吉川敏一	消化器内科
J Gastroenterol 2010, 45:426-434	Hepatic senescence marker protein-30 is involved in the progression of nonalcoholic fatty liver disease	安居幸一郎, 伊藤義人, 吉川敏一	消化器内科
Cancer Genet Cytogenet 2010, 197:16-24	Tissue factor pathway inhibitor 2 (TFPI2) is frequently silenced by aberrant promoter hypermethylation in gastric cancer	安居幸一郎, 吉川敏一	消化器内科
Cancer Genet Cytogenet 2010, 198:118-125	PEG10 is a probable target for the amplification at 7q21 detected in hepatocellular carcinoma	安居幸一郎, 伊藤義人, 吉川敏一	消化器内科
Hepatol Res 2010, 40:654-660	Relapse of hepatitis C in a pegylated-interferon-alpha-2b plus ribavirin-treated sustained virological responder	伊藤義人, 安居幸一郎, 吉川敏一	消化器内科
Clin Chim Acta 2010, 411:1735-1740	The fatty acid composition of plasma cholesteryl esters and estimated desaturase activities in patients with nonalcoholic fatty liver disease and the effect of long-term ezetimibe therapy on these levels	安居幸一郎, 伊藤義人, 吉川敏一	消化器内科
Lab Invest 2010, 90:1169-1178	Blockade of interleukin-6 signaling enhances hepatic steatosis but improves liver injury in methionine choline-deficient diet-fed mice.	山口寛二, 伊藤義人, 吉川敏一	消化器内科
Proc Natl Acad Sci U S A.	Apoptosis regulator through modulating IAP expression (ARIA) controls the PI3K/Akt pathway in endothelial and endothelial progenitor cells.	池田宏二・松原弘明	循環器・腎臓内科
Bone Marrow Transplant.	Bone marrow mononuclear cells versus G-CSF-mobilized peripheral blood mononuclear cells for treatment of lower limb ASO: pooled analysis for long-term prognosis.	的場聖明・松原弘明	循環器・腎臓内科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Physiol Heart Circ Physiol.	Endothelial FGF receptor signaling accelerates atherosclerosis.	沖垣光彦・松原弘明	循環器・腎臓内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol	p53 and TIGAR regulate cardiac myocyte energy homeostasis under hypoxic stress	の場聖明・松原弘明	循環器・腎臓内科
Nephrol Dial Transplant	Decreased plasma level of vitamin C in chronic kidney disease: comparison between diabetic and non-diabetic patients.	松原弘明	循環器・腎臓内科
Proc Natl Acad Sci U S A.	Klotho is associated with VEGF receptor-2 and the transient receptor potential canonical-1 Ca <sup>2+</sup> channel to maintain endothelial integrity.	沖垣光彦・松原弘明	循環器・腎臓内科
Clin J Am Soc Nephrol.	Plasma S100A12 level is associated with cardiovascular disease in hemodialysis patients.	森泰清・松原弘明	循環器・腎臓内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol.	Early Inflammatory Reactions in Atherosclerosis Are Induced by Proline-Rich Tyrosine Kinase/Reactive Oxygen Species-Mediated Release of Tumor Necrosis Factor- $\alpha$ and Subsequent Activation of the p21Cip1/Ets-1/p300 System.	沖垣光彦・松原弘明	循環器・腎臓内科
Clin Nephrol.	A case of Goodpasture syndrome positive for anti-GBM antibody and MPO-ANCA complicated by a variety of serious infections.	森泰清・松原弘明	循環器・腎臓内科
Eur J Echocardiogr.	Three-dimensional transoesophageal echocardiography in detailed evaluation of cor triatriatum.	山野哲弘・松原弘明	循環器・腎臓内科
Metabolism clinical and experimental	Nonaicoholic steatohepatitis and increased risk of chronic kidney disease.	松原弘明	循環器・腎臓内科
Europace.	Chronotropic incompetence and autonomic dysfunction in patients without structural heart disease.	松原弘明	循環器・腎臓内科
Circulation Journal	Predictors of in-hospital prognosis after primary percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction requiring mechanical support devices.	沢田尚久・松原弘明	循環器・腎臓内科
J Cardiol.	Predictors of nonoptimal coronary flow after primary percutaneous coronary intervention with stent implantation for acute myocardial infarction.	沢田尚久・松原弘明	循環器・腎臓内科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cardiovasc Res.	Antibody against interleukin-6 receptor attenuates left ventricular remodelling after myocardial infarction in mice.	小原幸・松原弘明	循環器・腎臓内科
Stem Cells Dev.	Signaling from fibroblast growth factor receptor 2 in immature hematopoietic cells facilitates donor hematopoiesis after intra-bone marrow-bone marrow transplantation.	沖垣光彦・松原弘明	循環器・腎臓内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Paracrine Osteogenic Signals via Bone Morphogenetic Protein-2 Accelerate the Atherosclerotic Intimal Calcification in Vivo	池田宏二・松原弘明	循環器・腎臓内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Bone marrow AT1 augments neointima formation by promoting mobilization of smooth muscle progenitors via of Smooth Muscle Progenitors via Platelet-Derived SDF-1[alpha]	山田浩之・松原弘明	循環器・腎臓内科
Circulation Journal	Enhanced Cardiovascular Protective effects of Valsartan in high-Risk Hypertensive Patients with left ventricular hypertrophy. Analysis of the KYOTO HEART Study	沢田尚久・松原弘明	循環器・腎臓内科
Heart Vessels	Primary percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction due to possible sequelae of Kawasaki disease in young adults:a case series	松原弘明	循環器・腎臓内科
Echocardiography	Usefulness and limitation of transthoracic echocardiography in the diagnosis of large coronary artery fistula.	沢田尚久・松原弘明	循環器・腎臓内科
Circulation Journal	Predictors of In-Hospital Prognosis After Primary Percutaneous Coronary Intervention for Acute Myocardial Infarction Requiring Mechanical Support Devices	沢田尚久・松原弘明	循環器・腎臓内科
PLoS One	PARM-1 is an endoplasmic reticulum molecule involved in endoplasmic reticulum stress-induced apoptosis in rat cardiac myocytes.	松原弘明	循環器・腎臓内科
Metabolism	Decreased plasma level of vitamin C in chronic kidney disease: comparison between diabetic and non-diabetic patients.	松原弘明	循環器・腎臓内科
Int J Hematol. 91:516-521, 2010年4月	Emergence of chronic myelogenous leukemia during treatment for essential thrombocythemia.	水谷 信介	血液・腫瘍内科
Leukemia. 24:843-850, 2010年4月	Galectin-9 exhibits anti-myeloma activity through JNK and p38 MAP kinase pathways.	古林 勉	血液・腫瘍内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Cancer Res. 8:994-1001, 2010年7月	Targeting activating transcription factor 3 by Galectin-9 induces apoptosis and overcomes various types of treatment resistance in chronic myelogenous leukemia.	黒田 純也	血液・腫瘍内科
Leukemia Res. 34:111-112, 2010年9月	Allogenic bone marrow transplantation with fludarabine/busulfan6 conditioning regimen and dasatinib maintenance therapy for elderly Philadelphia-positive acute/advanced leukemia patients.	山本 未央	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 92:669-672, 2010年11月	Bortezomib for post-allogeneic stem transplantation relapse and GVHD in multiple myeloma a single institute experience.	黒田 純也	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 92:579-586, 2010年11月	Bortezomib plus dexamethasone for relapsed or treatment refractory multiple myeloma the collaborative study at six institutes in Kyoto and Osaka.	古林 勉	血液・腫瘍内科
Act Hematol. 126:8-12, 2011年3月	Cytosporine a for chemotherapy-resistant subcutaneous panniculitis-like T cell lymphoma with hemophagocytic syndrome.	水谷 信介	血液・腫瘍内科
メディカ出版: 441-443, 2010	失行. 今すぐできる高次脳機能リハビリテーション (河村満編)	近藤正樹	神経内科
医学書院: 147-152, 163-170, 2010	episode 18. 子供になった父親—幼児化, 歴史上・生物学上から見たFTD/ピック・コンプレックス. パナナ・レディー前頭側頭型認知症をめぐる19のエピソード (河村満監訳)	近藤正樹	神経内科
Brain and Nerve 62(11): 1193-1202, 2010	大脳皮質と基底核の障害に伴う歩行障害	武澤信夫, 水野敏樹, 瀬尾和弥, 近藤正樹, 中川正法	神経内科
日本臨床 68(3): 502-507, 2010	NeuroAIDS	中川正法, 近藤正樹	神経内科
Clinical Neuroscience 28(3): 331-334, 2010	HIV感染と神経合併症~AIDS脳症・脊髄症・末梢神経障害~	中川正法	神経内科
日経メディカル開発: pp394-403, 2010	認知症. 編集 泉 孝英. ガイドライン 外来診療2010—今日の診療のために	中川正法	神経内科
Neuroinfection 15: 58-65, 2010	レトロウイルスと神経疾患	中川正法	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
老年期認知症研究会誌 16: 80-82, 2010	認知症と血管性要因	中川正法, 水野敏樹	神経内科
最新医学 65(9):2053- 2068, 2010	神経系疾患の遺伝子学	中川正法	神経内科
最新医学 65(7): 98- 103, 2010	脳脊髄液および血液中のTDP-43 定量と その臨床的有用性	徳田隆彦, 笠井高 士, 中川正法	神経内科
Clinical Neuroscience 28(12): 1405-1409, 2010	分子マーカーの基礎と臨床: 神経疾患 と分子マーカー: パーキンソン病	徳田隆彦, 戸田達 史.	神経内科
モダンフィジシャン 30(1): 89-91, 2010	脳卒中で起こる失行と変性疾患で生じ る失行とは違いがあるのでしょうか。 <高次脳機能障害 Q&A>	近藤正樹	神経内科
モダンフィジシャン 30(1): 202-204, 2010	J-ADNIとはなんですか。 <高次脳機能 障害 Q&A>	近藤正樹	神経内科
Fronti Parkinson Dis 3(1):14-16, 2010	パーキンソン病患者さんにリハビリ テーションを積極的に進めるべきであ る	近藤正樹, 中川正法	神経内科
No Shinkei Geka 38(10): 945-950, 2010	臨床神経心理学入門 第5回 脳外傷: Diffuse Axonal injury (びまん性軸索 損傷)と脳梁病変	近藤正樹.	神経内科
Neurology 75(20): 1766-1770, 2010	Detection of Elevated Levels of $\alpha$ - Synuclein Oligomers in CSF from Parkinson's Disease Patients.	Tokuda T, Qureshi MM, Ardah MT, Varghese S, Kasai T, Ishigami N, Tamaoka A, Nakagawa M, El- Agnaf OMA.	神経内科
J Neurol 257: 2091- 2093, 2010	Amyloid myopathy: A therapeutic trial for the rare and underdiagnosed myopathy with bortezomib.	Shiga K, Mizutani R, Isayama R, Shimazaki C, Tokuda T, Nakagawa M.	神経内科
Acta Neurologica Scandinavica. 2010 (in press)	Glial fibrillary acidic protein mutations in adult-onset Alexander disease: Clinical features observed in 12 Japanese cases.	Yoshida T, Sasayama H, Mizuta I, Okamoto Y, Yoshida M, Riku Y, Hayashi Y, Yonezu T, Takata Y, Ohnari K, Nakagawa M.	神経内科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Intern Med 49(12): 1201-1204, 2010.	Self-remitting and reversible parkinsonism associated with neuro-sweet disease.	Niwa F, Tokuda T, Kimura M, Azuma Y, Mizuno T, Nakagawa M.	神経内科
Amyotroph Lateral Scler. 2010 (in press)	Elevated CSF TDP-43 levels in amyotrophic lateral sclerosis: Specificity, sensitivity, and a possible prognostic value.	Noto Y, Shibuya K, Sato Y, Kanai K, Misawa S, Sawai S, Mori M, Uchiyama T, Iose S, Nasu S, Sekiguchi Y, Fujimaki Y, Kasai T, Tokuda T, Nakagawa M, Kuwabara S.	神経内科
Journal of the Neurological Sciences. 2010 (in press)	Distal motor axonal dysfunction in amyotrophic lateral sclerosis.	Noto Y, Kanai K, Misawa S, Shibuya K, Iose S, Nasu S, Sekiguchi Y, Fujimaki Y, Nakagawa M, Kuwabara S.	神経内科
Amyloid16(2):99-102, 2009	Cardiomyopathy in a Japanese family with the Glu61Lys transthyretin variant: a new phenotype.	Noto Y, Tokuda T, Shiga K, Tsuchiya A, Yazaki M, Matoba S, Nakagawa M.	神経内科
Mult Scler16:1252-1254, 2010	A case of cerebral aquaporinopathy.	Tanaka A, Yoshida T, Yamada T, Isayama R, Fujiwara Y, Shiga K, Yamada K, Tanaka K, Nakagawa M.	神経内科
Int J Stroke. 2010 (in press)	A new ultrasound method for evaluating dysphagia in acute stroke patients.	Tomii Y, Matsuoka H, Torii T, Uehara T, Toyoda K, Minematsu K.	神経内科
1. Neurosci Res 67: 341-346, 2010	T. Extracellular neurosin degrades alpha-synuclein in cultured cells.	Tatebe H, Watanabe Y, Kasai T, Mizuno T, Nakagawa M, Tanaka M, Tokuda	神経内科
臨床リハ 19(4): 403-406, 2010	パーキンソン病患者における外来リハビリテーションの必要性	武澤信夫, 瀬尾和弥, 山元顕太, 田中正子, 乃美由樹代, 中川正法	神経内科
Jpn J Rehabil Med 47: 239-244, 2010	HAM (HTLV-1 associated myelopathy) 患者に対するリハビリテーションの有効性	武澤信夫, 工藤有里子, 中川正法.	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
理学療法京都39: 5-9, 2010	京都府共通の地域連携パスの作成と運用	武澤信夫	神経内科
京都医学会雑誌 57(1): 65-70, 2010	京都府共通の大腿骨近位部骨折・脳卒中地域連携パスの取組	武澤信夫, 垣田清人, 高橋真, 上原春男, 中野博美.	神経内科
Jpn J Rehabil Med 47(11): 791-800, 2010	Unified Parkinson's disease rating scaleと三次元動作解析を用いたパーキンソン病患者のリハビリテーションの有効性の検討	武澤信夫, 中川正法.	神経内科
日本内科学会雑誌99(4): 865-6, 882-3, 2010	臨床クイズ 難聴, ふらつきで発症し, 物忘れが進行した67歳の男性	水野敏樹, 大原亮, 永金義成, 中川正法.	神経内科
高次脳機能研究 30(3): 398-403, 2010	ワークショップI: 画像診断と臨床症状拡散テンソル画像の臨床応用: 失語症の検討	近藤正樹, 渡辺(細見)明子.	神経内科
末梢神経. 2010(in press)	慢性炎症性脱髄性多発神経根炎(CIDP)の神経伝導検査における回復指標の検討	能登祐一, 三澤園子, 金井数明, 渋谷和幹, 磯瀬沙希里, 那須彩子, 関口縁, 藤巻由美, 中川正法, 桑原聡.	神経内科
Neurosonology 23: 5-8, 2010	超音波装置を用いた嚥下動態評価	富井康宏, 上原敏志, 鳥居孝子, 松岡秀樹, 豊田一則, 峰松一夫.	神経内科
日摂食嚥下リハ会誌(in Press)	都市部二次医療圏における脳卒中患者の嚥下評価と栄養管理の実態-急性期病院と回復期リハビリテーション病棟の比較-	富井康宏, 上原敏志, 上ノ町かおり, 谷岡真衣, 大島明子, 長束一行, 峰松一夫.	神経内科
医道の日本 69(9): 65-71, 2010	神経内科外来におけるパーキンソン病患者に対する鍼治療の一症例【パーキンソン病と鍼灸&統合医療的アプローチ】	建部陽嗣.	神経内科
SURGERY147(2), 2010 Feb	Prognostic impact of the width of subserosal invasion in gastric cancer invading the subserosal layer.	曾我耕次	消化器外科
Journal of Gastrointestinal Surgery 14(5), 2010 May	Application of polyethylene glycolic acid felt with fibrin sealant to prevent postoperative pancreatic fistula in pancreatic surgery.	落合登志哉	消化器外科
British Journal of Cancer 102(9), 2010 Apr	Prediction of CCND1 amplification using plasma DNA as a prognostic marker in oesophageal squamous cell carcinoma.	竹下宏樹	消化器外科

小計

12



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepato-Gastroenterology 57(101), 2010 Jul-Aug	Salvage surgery for uncontrollable hepatocellular carcinoma treated with repeated non-surgical therapies.	落合登志哉	消化器外科
Hepato-Gastroenterology 57(101), 2010 Jul-Aug	Usefulness of standardization in spreading of laparoscopy-assisted distal gastrectomy.	市川大輔	消化器外科
Journal of surgery oncology 103(1), 2011 Jan 1	Elevated serum CRP levels after induction chemoradiotherapy reflect poor treatment response in association with IL-6 in serum and local tumor site in patients with advanced esophageal cancer.	藤原齊	消化器外科
冠疾患誌 16 2010年	80歳以上の高齢者における冠動脈バイパス術	土井 潔	心臓血管外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 16(4) 2010 Aug.	Stroke in off-pump coronary artery bypass grafting.	Yaku H	心臓血管外科
J Biomed Mater Res B Appl Biomater 92(1) 2010 Jan.	Autologous small-caliber "Biotube" vascular grafts with argatroban loading: A histomorphological examination after implantation to rabbits.	Watanabe T	心臓血管外科
J Biomed Mater Res B Appl Biomater 92(1) 2010 Jan.	3-Tesla magnetic resonance angiographic assessment of a tissue-engineered small-caliber vascular graft implanted in a rat.	Yamanami M	心臓血管外科
European Journal of Cardio-Thoracic Surgery 38. 2010 Apr.	Importance of cerebral artery risk evaluation before off-pump coronary artery bypass grafting to avoid perioperative stroke.	Doi K	心臓血管外科
冠疾患誌 16 2010年	Endocardial linear infarct exclusion technique(ELIET)を用いた左室形成術: Dor手術との比較	土井 潔	心臓血管外科
J Artif Organs 13(2) 2010 Jul.	Preparation of in-vivo tissue-engineered valved conduit with the sinus of Valsalva (type IV biovalve).	Yamanami M	心臓血管外科
Circulation 122(11 Suppl) 2010年 Sep.	Development of a completely autologous valved conduit with the sinus of Valsalva using in-body tissue architecture technology: a pilot study pulmonary valve replacement in a beagle model.	Yamanami M	心臓血管外科
Oncology 78(5-6):302-308, 2010	Phase II Trial in Japan of Sequential Administration of Weekly Paclitaxel followed by FEC as Neoadjuvant Chemotherapy for Locally Advanced Breast Cancer [KBCSG0206 Trial: Kinki Breast Cancer Study Group (KBCSG)].	Taguchi T	内分泌・乳腺外科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Chemotherapy 56(2):166-170, 2010	Study of Low-Dose Capecitabine Monotherapy for Metastatic Breast Cancer.	Taguchi T	内分泌・乳腺外科
Cancer Chemother Pharmacol 66(1):89-94, 2010	Phase I study of combination therapy with weekly paclitaxel and cyclophosphamide for advanced or recurrent breast cancer.	Taguchi T	内分泌・乳腺外科
Breast Cancer 17(2):103-9, 2010	Predictive factors for anthracycline-based chemotherapy for human breast cancer.	Taguchi T	内分泌・乳腺外科
Am J Surg 199(4):442-6, 2010	Long-term follow-up results of breast cancer patients with sentinel lymph node biopsy using periareolar injection.	Taguchi T	内分泌・乳腺外科
Cancer 1;117(3):472-9, 2011 Feb	High genomic grade index associated with poor prognosis for lymph node-negative and estrogen receptor-positive breast cancers and with good response to chemotherapy.	Taguchi T	内分泌・乳腺外科
Gan To Kagaku Ryoho 37(7):1317-20, 2010 Jul	Long-term complete response in a patient with breast cancer and bone and pleura metastases after treatment with a combination of S-1 and zoledronic acid	Mizuta N, Sakaguchi K	内分泌・乳腺外科
J Biosci Bioeng 110(2):250-3, 2010 Aug	Enhancement of paclitaxel-induced apoptosis in HER2-overexpressing human breast cancer cells by a pertuzumab mimetic peptide, HRAP.	Mizuta N, Sakaguchi K	内分泌・乳腺外科
World J Surg 34(9):2197-203, 2010 Sep	Clinical outcomes of video-assisted skin-sparing partial mastectomy for breast cancer and immediate reconstruction with latissimus dorsi muscle flap as breast-conserving therapy.	Mizuta N, Sakaguchi K	内分泌・乳腺外科
Journal of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery 63, 446-450	Artery-dominant free jejunal transfer	Toshiaki Numajiri,	形成外科
Journal of Reconstructive Microsurgery 26, 165-170	Double Arterialized Free Jejunal Flap	Toshiaki Numajiri,	形成外科
Journal of orthopaedic science 15: 661-665, 2010.	Noninvasive up-regulation of angiopoietin-2 and fibroblast growth factor-2 in bone marrow by pulsed electromagnetic field therapy.	Goto T, Fujioka M, Ishida M, Kuribayashi M, Ueshima K, Kubo T	整形外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Magnetic resonance imaging, 28 : 820-825, 2010.	The clinical usefulness of preoperative dynamic MRI to select decompression levels for cervical spondylotic myelopathy	Harada T, Tsuji Y, Mikami Y, Hatta Y, Sakamoto A, Ikeda T, Tamai K, Hase H, Kubo T	整形外科
Knee surgery, sports traumatology, arthroscopy, 18 : 1470-1475, 2010.	An analysis of the medial patellofemoral ligament length change pattern using open-MRI	Higuchi T, Arai Y, Takamiya H, Miyamoto T, Tokunaga D, Kubo T	整形外科
The journal of gene medicine, 12 : 219-227, 2010.	MDR1a/1b gene silencing enhances drug sensitivity in rat fibroblast-like synoviocytes.	Honjo K, Takahashi KA, Hiraoka N, Tokunaga D, Inoue A, Mazda O, Kishida T, Inoue H, Kubo T	整形外科
Japanese journal of joint disease:29 : 29-38, 2010.	Effects of low-dose tacrolimus in rheumatoid arthritis: A follow-up study lasting more than 2 years.	Imai K, Tokunaga D, Takahashi KA, Hojo T, Takatori R, Otakara E, Nakagawa K, Kubo T	整形外科
Oncology Reports, 24 : 233-239, 2010.	Zoledronic acid inhibits proliferation of human fibrosarcoma cells with induction of apoptosis, and shows combined effects with other anticancer agents.	Koto K, Murata H, Kimura S, Horie N, Matsui T, Nishigaki Y, Ryu K, Sakabe T, Itoi M, Ashihara E, Maekawa T, Fushiki S, Kubo T	整形外科
Acta orthopaedica, 15 : 452-458, 2010.	Vitamin E prevents steroid-induced osteonecrosis in rabbits.	Kuribayashi M, Fujioka M, Takahashi KA, Arai Y, Ishida M, Goto T, Kubo T	整形外科
Journal of orthopaedic science, 15 : 452-458, 2010.	Reliability and validity of the Japanese orthopaedic association hip score.	Kuribayashi M, Takahashi KA, Fujioka M, Ueshima K, Inoue S, Kubo T	整形外科
Oncology Reports, 24 : 329-333, 2010.	A novel MEK1/2 inhibitor induces G1/S cell cycle arrest in human fibrosarcoma cells.	Matsui TA, Murata H, Sowa Y, Sakabe T, Koto K, Horie N, Tsuji Y, Sakai T, Kubo T	整形外科

小計

8

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
GLIA, 58 : 954-963, 2010.	Endogenous glucocorticoids improve myelination via Schwann cells after peripheral nerve injury: An in vivo study using a crush injury model.	Morisaki S, Nishi M, Fujiwara H, Oda R, Kawata M, Kubo T	整形外科
Journal of orthopaedic science, 28 : 156-163, 2010.	N-acetylcysteine prevents nitric oxide-induced chondrocyte apoptosis and cartilage degeneration in an experimental model of osteoarthritis.	Nakagawa S, Arai Y, Mazda O, Kishida T, Takahashi KA, Sakao K, Saito M, Honjo K, Imanishi J, Kubo T	整形外科
Foot & ankle international, 31 : 1025-1027, 2010.	Arthroscopic fixation technique for osteochondral lesions of the talus.	Nakagawa S, Hara K, Minami G, Arai Y, Kubo T	整形外科
Anticancer Research, 30 : 2713-2720, 2010.	Combined effects of bisphosphonate and radiation on osteosarcoma cells.	Ryu K, Murata H, Koto K, Horie N, Matsui T, Nishigaki Y, Sakabe T, Takeshita H, Itoi M, Kimura S, Ashihara E, Maekawa T, Fushiki S, Kubo T	整形外科
The Journal of arthroplasty, 25 : 369-374, 2010.	Clinical and radiographic results for the Richards Modular Hip system prosthesis in total hip arthroplasty: average 10-year follow-up.	Suehara H, Fujioka M, Inoue S, Takahashi K, Ueshima K, Kubo T	整形外科
Journal of shoulder and elbow surgery, 19 : 891-89, 2010.	Characteristics of donor and host cells in the early remodeling process after transplant of Achilles tendon with and without live cells for the treatment of rotator cuff defect-what is the ideal graft for the treatment.	Tachiiri H, Morihara T, Iwata Y, Yoshida A, Kajikawa Y, Kida Y, Matsuda K, Fujiwara H, Kurokawa M, Kawata M, Kubo T	整形外科
Spine, 35 : 1278-1284, 2010.	Three-dimensional morphology and kinematics of the craniovertebral junction in rheumatoid arthritis.	Takatori R, Tokunaga D, Hase H, Mikami Y, Ikeda T, Harada T, Imai K, Ito H, Nishimura T, An HS, Inoue N, Kubo T	整形外科
Acta orthopaedica, 81 : 628-633, 2010.	Assessment of distraction callus in rabbits by monitoring bone electrical impedance.	Yoshida T, Kim WC, Oka Y, Yamada N, Kubo T	整形外科

小計

8

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int J Gynecol Cancer.	Neoadjuvant weekly carboplatin and paclitaxel followed by radical hysterectomy for locally advanced cervical cancer: long-term results.	Mori T, Hosokawa K, Sawada M, Kuroboshi H, Tatsumi H, Koshiba H, Okubo T, Kitawaki J.	産婦人科
Gynecol Oncol	Possible involvement of loss of heterozygosity in malignant transformation of ovarian endometriosis	Xu B, Hamada S, Kusuki I, Itoh R, Kitawaki J	産婦人科
Int J Hematol 91: 646-651, 2010.	Outcome of pediatric patients with Langerhans cell histiocytosis treated with 2-chlorodeoxyadenosine: a nationwide survey in Japan	今村 俊彦	小児発達医学
Biochem Biophys Res Commun 400(1): 89-93, 2010.	Circulating muscle-specific microRNA, miR-206, as a potential diagnostic marker for rhabdomyosarcoma.	宮地 充	小児発達医学
Brain Dev 32(7): 517-523, 2010	Effects of stress of postnatal development on corticosterone, serotonin and behavioral changes.	松井 史裕	小児発達医学
Neuroscience 165: 1254-1260, 2010	Postnatal changes in serotonergic innervation to the hippocampus of methyl-CpG-binding protein 2-null mice.	磯田 賢一	小児発達医学
Neurosci Lett 484(1): 66-70, 2010.	Prenatal and lactational exposure to low-doses of bisphenol A alters brain monoamine concentration in adult mice.	中村 恵子	小児発達医学
J Allergy Clin Immunol. 126(6):1218-1225, 2010.	Association between prostaglandin E receptor 3 polymorphisms and Stevens-Johnson syndrome identified by means of a genome-wide association study.	Ueta M	眼科
Am J Pathol. 177:1344-1355, 2010.	Tumor-Associated Calcium Signal Transducer 2 Is Required for the Proper Subcellular Localization of Claudin 1 and 7: Implications in the Pathogenesis of Gelatinous Drop-Like Corneal Dystrophy.	Nakatsukasa M	眼科
Ophthalmology. 117(12):2247-2254, 2010.	Long-Term Phenotypic Study after Allogeneic Cultivated Corneal Limbal Epithelial Transplantation for Severe Ocular Surface Diseases.	Nakamura T	眼科
Arch Ophthalmol. 128(2):259-262, 2010.	Severe retinal vascular infarction after photodynamic therapy with verteporfin using the standard protocol.	Koizumi H	眼科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Arch Ophthalmol. 128(10):1369-1371, 2010.	Prostaglandin E receptor 4 expression in human conjunctival epithelium and its downregulation in devastating ocular surface inflammatory disorders.	Ueta M	眼科
Am J Ophthalmol. 149(2):354, 2010.	Systemic and Local Management at the Onset of Stevens-Johnson Syndrome and Toxic Epidermal Necrolysis with Ocular Complications.	Sotozono C	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 51(5):2450-2458, 2010.	Intracellular Thiol Redox Status Regulates Lymphatic Vessel Growth in the Cornea and Dictates Corneal Limbal Graft Survival.	Fukumoto A	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 51(9):4523-4530, 2010.	Lattice Corneal Dystrophy Type IV (p.Leu527Arg) was Caused by a Founder Mutation of the TGFBI Gene in a Single Japanese Ancestor.	Fukuoka H	眼科
Biochem Biophys Res Commun. 404:419-423, 2010.	Contribution of IPS-1 topoly:l:C- induced cytokine production in conjunctival epithelial cells.	Ueta M	眼科
Br J Ophthalmol. 95(5):742-743, 2010.	Prostaglandin E receptor subtype EP3 downregulates TSLP expression in human conjunctival epithelium.	Ueta M	眼科
Br J Ophthalmol. 95(7):942-946, 2010.	Long-term results of autologous cultivated oral mucosal epithelial transplantation in the scar phase of severe ocular surface disorders.	Nakamura T	眼科
Br J Ophthalmol. 95(7):1006-1009, 2010.	Enhancement of corneal endothelium wound healing by a ROCK inhibitor eye drop.	Okumura N	眼科
Br J Ophthalmol. 94(9):1239-1243, 2010.	Expression of the interleukin-4 receptor alpha in human conjunctival epithelial cells.	Ueta M	眼科
Br J Ophthalmol. 94(11):1499-1505, 2010.	Blue light and near-infrared fundus autofluorescence in acute Vogt- Koyanagi-Harada disease.	Koizumi H	眼科
Br J Ophthalmol. 94(11):1528-1532, 2010.	Gene-expression analysis of poly:l:C-stimulated primary human conjunctival epithelial cells.	Ueta M	眼科
Cornea. 29:S57-61, 2010.	Regulation of Ocular Surface Inflammation by Prostaglandin E Receptor Subtype EP3.	Ueta M	眼科
Brain Res Bull. 81:219-28, 2010.	Innate immunity of the ocular surface.	Ueta M	眼科
Eye Contact Lens. 36:269-281, 2010.	Ocular surface inflammation mediated by innate immunity.	Ueta M	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Immunol Lett. 133:115, 2010.	Spatio-temporal dual effects of $1\kappa$ B $\zeta$ dictates the caution on visual disturbance resulting from $1\kappa$ B $\zeta$ deficiency.	Ueta M	眼科
J Refractive Surg. 26:594-599, 2010.	Prospective Randomized Trial of Limbal Relaxing Incisions Combined With Microincision Cataract Surgery.	Ouchi M	眼科
Jpn J Ophthalmol. 54(3):215-220, 2010.	Using synthesized onion lachrymatory factor to measure age-related decreases in reflex-tear secretion and ocular-surface sensation.	Higashihara H	眼科
International Immunopharmacology	IL-12 gene transfer cooperates with Mitf silencing to inhibit melanoma in mice.	Nakai N	皮膚科学
Pigment cell & melanoma research	Dendritic cell vaccination in human melanoma: relationships between clinical effects and vaccine parameters.	Nakai N	皮膚科学
Journal of the American Academy of Dermatology	Platelet activation in patients with psoriasis: increased plasma levels of platelet-derived microparticles and soluble P-selectin.	Tamagawa-Mineoka R	皮膚科学
Journal of investigative dermatology	IL-21 Reduces Immediate Hypersensitivity Reactions in Mouse Skin by Suppressing Mast Cell Activation or IgE Production.	Tamagawa-Mineoka R	皮膚科学
Journal of Urology 183(4):1625-1629, 2010. 4	Ipha-Melanocyte Stimulating Hormone Analogue AP214 Protects Against Ischemia Induced Acute Kidney Injury in a Porcine Surgical Model	Ukimura O	泌尿器科
Expert Review Medical Device 7(4):541-545, 2010. 7	Evolution of precise and multimodal MRI and TRUS in detection and management for early prostate cancer	Ukimura O	泌尿器科
Urology 75(6):1509-1513, 2010. 6	Experimental study for electrovaporization of renal cell carcinoma using a new shape memory alloy probe.	Naitoh Y Kawauchi A Soh J Kamoi K Miki T	泌尿器科
Japanese Journal of Clinical Oncology 40(7):684-689, 2010. 6	Successful Outcomes Using Combination Therapy of Interleukin-2 and Interferon-[alpha] for Renal Cell Carcinoma Patients with Lung Metastasis.	Miki T	泌尿器科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Urologia Internationarlis 84(3):362-368, 2010. 4	Enhancement of the sensitivity of renal cell carcinoma cells to fas-mediated cytotoxicity and apoptosis by the selective cyclooxygenase-2 inhibitor JTE-522.	Kawauchi A Miki T	泌尿器科
Cancer Science 101(8):1897-1904, 2010. 8	5alphaDH-DOC (5alpha-dihydro-deoxycorticosterone) activates androgen receptor in castration-resistant prostate cancer	Miki T	泌尿器科
Japanese Journal of Clinical Oncology 40(12):1166-1172, 2010. 12	Overall survival and updated results from a phase II study of sunitinib in Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma	Miki T	泌尿器科
Cancer Reserch 70(14):5829-5839, 2010.	Cell-permeable peptide DEPDC1-ZNF224 interferes with transcriptional repression and oncogenicity in bladder cancer cells.	Miki T	泌尿器科
International Journal of Urology 17(10):890- 893, 2010. 10	Technique for a hybrid system of real-time transrectal ultrasound with preoperative magnetic resonance imaging in the guidance of targeted prostate biopsy	Ukimura O Fujihara A Yamada T Iwata T Kamoi K Okihara K Miki T	泌尿器科
Brain Reserch 1357:70- 78. 2010. 10. 21	Role of the lateral preoptic area and the bed nucleus of stria terminalis in the regulation of penile erection.	Kawauchi A Miki T	泌尿器科
The Journal of Sexual Medicine 7(11):3743- 3749, 2010. 11	Nicardipine vs. Saline Injection as Treatment for Peyronie's Disease: A Prospective, Randomized, Single-Blind Trial	Soh J Kawauchi A Kanemitsu N Ochiai A Naitoh Y Kamoi K Miki T	泌尿器科
Experimental and Therapeutic Medicine 1(6):955-965, 2010. 11	Identification of a set of genes associated with response to interleukin-2 and interferon- $\alpha$ combination therapy for renal cell carcinoma through genome-wide gene exoression profiling	Miki T	泌尿器科
Proceedings of the National Academy of Sciences USA USA 107(46):19891- 19896, 2010. 11. 16	Identification of a set of genes associated with response to interleukin-2 and interferon- $\alpha$ combination therapy for renal cell carcinoma through genome-wide gene exoression profiling	Miki T	泌尿器科
International Journal of Oncology 38(2):365- 374, 2011. 2	Chetomin induces degradation of XIAP and enhances TRAIL sensitivity in urogenital cancer cells.	Nakamura T Kawauchi A Miki T	泌尿器科

小計

10



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BJU International 107(5):791-798, 2011.3	Analysis of nocturia with 24-h urine volume, nocturnal urine volume, nocturnal bladder capacity and length of sleep duration: concept for effective treatment modality.	Nakao M Ukimura O Kawauchi A Miki T	泌尿器科
International Journal of Urology 18(3):200-205, 2011.3	Prostate cancer gene 3 urine assay for prostate cancer in Japanese men undergoing prostate biopsy.	Ochiai A Okihara K Kamoi K Iwata T Kawauchi A Miki T	泌尿器科
Acta Radiologica 52(2):120-126, 2011.2	Incremental value of T2-weighted and diffusion-weighted MRI for prediction of biochemical recurrence after radical prostatectomy in clinically localized prostate cancer.	Kamoi K Okihara K Kawauchi A Miki T	泌尿器科
Urologia Internationalis 87(1):28-34, 2011.1	Optimal Duration of Androgen Deprivation in Combination with Radiation Therapy for Japanese Men with High-Risk Prostate Cancer.	Takaha N Okihara K Kamoi K Kimura Y Yamada T Kawauchi A Miki T	泌尿器科
Auris Nasus Larynx	Expression of CC-chemokine receptor 7 (CCR7) and CXCL12-chemokine receptor 4 (CXCR4) in head and neck squamous cell carcinoma.	Ueda M, Shimada T, Hisa Y	耳鼻咽喉科
Neurosci Res	Brainstem vocalization area in guinea pigs.	Sugiyama Y, Hisa Y	耳鼻咽喉科
J Reconstr Microsurg	Double arterialized free jejunal flap.	H, Nakano H, Shimada T, Nakai S, Hisa Y	耳鼻咽喉科
Br J Oral Maxillofac Surg	Double vascular anastomosis in the neck for reliable free jejunal transfer.	Nakano H, Shimada T, Hisa Y.	耳鼻咽喉科
PLoS One	RB1CC1 activates RB1 pathway and inhibits proliferation and cologenic survival in human cancer.	Ikebuchi K, Ochi Y, Shimada T, Hisa Y	耳鼻咽喉科
J Immunother	Interleukin-28B acts synergistically with cisplatin to suppress the growth of head and neck squamous cell carcinoma.	Yoshimoto K, Nakano H, Matsui M, Hisa Y	耳鼻咽喉科
Br J Oral Maxillofac Surg	Blood gas analysis in doubly-vascularised free jejunal transfers.	Nakano H, Shimada T, Hisa Y	耳鼻咽喉科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Psychiatry and Clinical Neurosci 64(2), 120-127, 2010 Apr.	Factors associated with postpartum depression and abusive behavior in mothers with infants.	Choi H	精神神経科
Psychiatry and Clinical Neurosci 64(3), 336-337, 2010 Jun.	Progressive isolated amnesia: A 9-year neuropsychological study with magnetic resonance imaging and single photon emission computed tomography data.	Hatano Y	精神神経科
Psychiatry Clin Neurosci 64(4), 372-376, 2010 Aug.	Insight and quality of life in long-term hospitalized Japanese patients with chronic schizophrenia.	Nakamae T	精神神経科
Dement Geriatr Cogn Disord 29(4), 287-293 2010 Apr.	Insular hypoperfusion correlates with the severity of delusions in individuals with Alzheimer's disease.	Matsuoka T	精神神経科
J Neuropsychiatry Clin Neurosci 22(4), 451, 2010 Fall.	Schizophrenia-like psychosis and dysfunction of the right-dominant parietotemporal lobe in early-onset Alzheimer's disease.	Matsuoka T	精神神経科
精神神経学雑誌 112(8), 750-757, 2010年8月.	発達障害を合併する摂食障害.	和田良久	精神神経科
老年精神医学雑誌 21(10), 1129-1134, 2010年10月.	フルボキサミンがうつ症状に有効であった高度アルツハイマー病の2症例.	成本 迅	精神神経科
Respir Res 11: 164, 2010	Expression of neutral endopeptidase activity during clinical and experimental acute lung injury.	橋本 壮志	麻酔科
Pain 149(3): 514-521, 2010	Induction of high mobility group box-1 in dorsal root ganglion contributes to pain hypersensitivity after peripheral nerve injury.	柴崎 雅志	麻酔科
J Anesth 24(4): 643-645, 2010	A portable blood analyzer that uses on-line data management to deliver higher-quality patient information.	柴崎 雅志	麻酔科
Anesthesiology 113(4): 819-824, 2010	Prediction of pediatric endotracheal tube size by ultrasonography.	柴崎 雅志	麻酔科
Eur J Clin Microbiol Infect Dis 29(12): 1475-9, 2010	The importance of a judicious and early empiric choice of antimicrobial for methicillin-resistant Staphylococcus aureus bacteraemia.	志馬 伸朗	麻酔科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本歯科保存学会雑誌	羊膜上培養ヒト歯根膜由来細胞における免疫組織化学的検討	雨宮 傑	歯科
日本小児循環器学会雑誌 26(5) 2010 Nov.	主要体肺動脈側副血行路を合併した心奇形に対する外科治療戦略	宮崎隆子	小児心臓血管外科
臨床病理 58 : 664-669, 2010(平成22年7月)	急性炎症性疾患に対するPOCT機器 MicrosemiLC-667CRP の有用性	稲葉 亨	臨床検査部

小計  
3  
計  
203

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入する

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 三木 恒治
管理担当者氏名	事務部長 柴田 一宏

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録  病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療情報管理室 各診療科外来 病棟 調剤室 フィルム庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年1月から電子カルテシステムを導入し、電子データでの管理を行っている。</li> <li>手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等は、カルテに整理して、診療情報管理室に保管。</li> <li>通院・入院中のアクティブカルテについては、各診療科の外来・病棟で保管。</li> <li>処方箋は調剤室に、エックス線写真はフィルム庫で保管。</li> </ul>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	
	高度の医療の実績	医事収納課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事収納課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院管理課 薬剤部	
一規 項則 第一 号に 掲げ る第 一 項各 号及 び第 九 条の 第二 十三 第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事収納課	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及びに諸 運に記 営る	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項第 一号に掲げる体制の 確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	感染対策部
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	感染対策部
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	感染対策部
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	感染対策部
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の収 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	医療機器管理部 医療安全管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院管理課長 荒田 均
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 田川 裕隆
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整担当

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 0 件	
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	55.2 %	算定期間	平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	12,298 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,378 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	634 人	
	D: 初診の患者の数	29,425 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

①	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
	・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全管理のための基本的な考え方</li> <li>○ 安全管理のための組織</li> <li>○ 医療事故発生時の対応</li> <li>○ 医療事故及びインシデント報告制度</li> <li>○ 職員の教育・研修及び啓発</li> <li>○ 患者相談窓口</li> </ul>	
②	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
	・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全管理のための指針の策定及び変更</li> <li>○ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施</li> <li>○ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討</li> </ul>	
③	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
	・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヒューマンエラーについて</li> <li>○ 医療安全とヒューマンファクターズ</li> <li>○ 医療過誤被害者から見た医療の問題点と取り組み</li> <li>○ 医療安全と感染対策に関する医療倫理</li> <li>○ 近時におけるインフォームド・コンセントをめぐる訴訟について</li> </ul>	
④	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
	・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( (有) ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療安全のための院内調査ラウンドの実施</li> <li>○ 職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部レター」の発行</li> <li>○ インシデント事例を記載した「医療管理部ファイル」の作成、供覧</li> <li>○ 人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施</li> </ul>	
⑤	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) ( 1 名 ) ・ 無
⑥	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 1 名 ) ・ 無
⑦	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
	・ 所属職員： 専任( 1 )名 兼任( 7 )名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ</li> <li>○ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析</li> <li>○ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導</li> <li>○ 安全管理のための教育、研修の実施</li> <li>○ 安全対策の推進</li> </ul>	
⑧	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	(有) ・ 無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的考え方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</li> <li>・ 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</li> <li>・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>・ 患者等の対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： 感染症発生状況（対応状況も含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む）</li> <li>・ 抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する始動状況も含む）</li> <li>・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討</li> </ul> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結核</li> <li>・ 小児感染症</li> <li>・ インフルエンザ関連</li> <li>・ 抗菌薬の適正使用</li> <li>・ 予防投与</li> <li>・ HIV/AIDS</li> </ul> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (① 有 ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医師部門に「感染対策推進医師」を、看護部門に「リンクナース」をそれぞれ配置し、感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスや電子メール配信等の手段により随時周知徹底を図っている。</li> </ul>	



医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
・ 研修の主な内容： 医学部6年次生対象「医薬品の安全管理と安全使用」 新人看護師対象「 Medikation エラー対策」 看護部集合研修「がん性疼痛における患者への服薬指導」 看護部集合研修「抗がん剤の臨床薬理」 看護部実務研修「注射薬の陰圧操作の手技、簡易懸濁法の考え方」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	(有) ・ 無
・ 手順書の作成 ・ 業務の主な内容： 業務手順書に基づく定期的な業務チェックと手順書の改訂	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	(有) ・ 無
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理委員会（月2回・第2・4火曜日）：アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有化と過誤防止策の決定  <今年度の改善事項> 注射薬カート導入による一施用払出しの実施と併用禁忌などのチェック 土日の入院抗がん剤ミキシング実施	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
<p>・ 研修の主な内容：          新規導入人工呼吸器(IMI VELA)に対する安全使用研修会を開催(6回)          ICUに導入した血液浄化装置に対する安全講習会(1回)          他          看護部主催のラダー研修会(ME機器の基礎知識と技術)、レベルアップセミナーに協力(2回)          看護部OSCEに協力          他研修会計画多数あり</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 (有 ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：          特定保守管理機器5品目(人工心肺と補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器)については製造メーカーの基準項目に準じて院内実施、及び機種によりメーカー実施。他の医療用電子機器30品目についてはMEセンター委託会社により年2回を計画的に実施している。各機器の個別データと点検結果は専用コンピュータ(PC Meister)に入力し、紙baseでの管理も実施している。点検記録有り。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：          医療機器の添付書類関係は全て機器別にMEセンター内でファイル管理済み。注意喚起文書類も同様であるが、医療安全に関連するものについては各個別病棟に連絡し、場合によっては医療安全管理部と連携し、情報伝達を徹底するようにしている。PMDAによる情報収集も実施している。</p>	